

節目の年

変化への備え

節から芽が出る年へ

● 学校法人四條暁学園理事長
小谷 明



学園版「アクティブ ラーニング」に向け始動

—— 就任から10カ月を経ての感想をお聞かせください。

小谷 就任当初から就任メッセージ、教職員との会議の場、さらには年頭の挨拶の機会を通過して、学園運営の基本方針や考え方について発信してきました。建設的な意見が寄せられたり、アクティブラーニングをベースにした新しいコースの設置や新たな学園ブランドの向上策の検討の動きが見られるなど、徐々に理解が進み、浸透してきているように感じています。

—— 昨年度の重要課題であった日本高等教育評価機構による大学の認証評価についてお聞かせください。

小谷 特に大きな問題もな、大学評価基準に適合していると認定されました。これは教学面だけではなく、学園全体の管理運営面でも基準に適合したことになります。今後の課題としては、これまで取り組んできた長期ビジョン・中期計画を通じたPDCAサイクル・中期計画を通じたPDCASサイクルの仕組みづくりを踏まえ、このサイクルを自律的に回し、実効性を高めていくことが重要になります。特に、教育改革特恵ある教育・学園ブランドの向上、ガバナンス改

革(管理体制・財務基盤の強化)という点については、大学だけでなく、各校園共通の課題になります。今年度の位置づけは?

小谷 さまざまな意味で節目の年です。外部環境面では少子化が本格化し、18歳人口が減少に転ずる「2018年問題」の年に当たります。また、学園としても、平成30年度は学園本部の完成年度であり、4月には学園保育園を開設するなど、総合学園としてより充実する年になります。中計の最終年度でもあり、次期中計策定に向けての準備が始まります。さらには、「働き方改革」への対応も求められます。基本的な方向性が大きく変わ

ることはありませんが、節目の年変化にしっかり備え、節から芽が出るような年にならねばと思っています。

—— 保育園を開設する狙いは?

小谷 背景には少子化による幼稚園の募集環境の厳しさとともに、共稼ぎ世帯の増加に伴う保育ニーズの強まりなどの世の中の変化があります。地域社会のニーズに対応するとともに、変化にしっかり対応し、総合学園としての基盤強化につなげたいと考えています。

小谷 「働き方改革」については、厳しい環境の中で、学園

が発展していくためには、「特色づくり」を通じた募集力の強化が求められます。

一方で、「働き方改革」という流れの中では、教職員の「負担軽減」も重要なテーマになります。実際に、「特色づくり」と教職員の「負担軽減」を同時に追求していくことは難易度の高い課題であり、従来の考え方に捉われないこと、業務や役割の見直しを通じた課題解決型の「働き方改革」がポイントになります。そのためにも、従来以上に、コミュニケーションとモチベーションを大切に、学園のチーム力を高めていきたいと考えています。

—— 最後に生徒・学生の皆さんへメッセージをお願いします。

小谷 これまで人間のやっていた数多くの仕事をAI(人工知能)が行う時代になる言われています。そのような時代にはどのような人材や能力が求められるかについて関心を持って欲しいと思います。さまざま考え方はありますが、人間でなければできない仕事があり、重要性を増してきていること間違いないと思います。その意味でも従来以上にアクティブラーニングが注目されてくると思います。特に、コミュニケーション能力とその前提となる「基礎力」や「人間力」の重要性が高まっていくと言われていています。四條暁学園ではこのような「基礎力」・「人間力」はもちろんだ、体験を通じた「実践力」を身につける機会をさまざまあります。数多くの課外学習やクラブ活動、仲間づくりの機会をぜひ活かしてこれから求められる能力をしっかり身につけて欲しいと願っています。

安全で充実した保育サービスにより、働く保護者のみなさまを応援いたします

四條 暁 学園 保育園

2018年4月2日(月) 学園幼稚園園舎内に **OPEN**

● 利用日 月曜日～土曜日
 ※日・祝祭日、年末年始(12/29～1/3)は休園

● 時間 7:00～18:00(延長保育18:00～19:00)

● 定員 1歳児クラス 9名/2歳児クラス 10名

● 保育料 基本保育料35,700円 特別保育料4,100円 その他実費

● スタッフ 園長 中西邦枝(学園幼稚園 元園長)
 副園長 山根徳子(学園幼稚園 元副園長)

● 利用資格

- 保育認定(3号認定)を受けたお子様(地域枠)
- 共同利用契約を結んだ法人の従業員のお子様(従業員枠)
- 四條暁学園の教職員のお子様(従業員枠)

● 利用年齢・募集人数

- 1歳児(平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ) …8名(従業員枠5名 地域枠3名)
- 2歳児(平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ) …2名(従業員枠2名)

31年度入園 園児 募集中

企業主導型 保育園 (新管・内閣府)

ヨコネ式 保育

申し込み・問い合わせ先 学校法人四條暁学園法人本部保育園担当 大阪府大東市学園町6番45号 TEL 072-876-1321 MAIL nursery@shijonawate-gakuen.ac.jp



雨を吹き飛ばす賑わい 秋祭り

なんと、気になっていた天気
が当たってしまいました。雨。前
日からすでに雨天時のプログラムになっていたもの、当日朝の雨を見れば、残念という感がわき上がってしまいます。「どうしてこの日、雨になるのだ」。天候は仕方ないとはいえ、モヤモヤ感が漂います。でも、子ども達はそんな雨などなんのその。

4年生・5年生・6年生はそれぞれの店の準備に余念がありません。4年生は割り箸でつぼう製作。割り箸でつぼうで的を当てるというおまけもありました。5年生は自分たちが作った竹

箸を販売。また、他の学年にも作り方を教え、実際に作らせてとんとんキツツキ・風車などを販売しました。6年生はスライム・プラ板キーホルダー・ミサンガの販売も行いました。また6年生はゲームとしては落下傘当て・ストラックアウト・ボーリングでみんなを楽しませてくれました。PTAと先生は、ミルクせんべい・おいも・豚汁・ぜんざい・もちつきのお店。天候の悪さも吹き飛ばす賑わいでした。学園の秋祭りは雨天決行です。



「もえろ もえろ 太陽のように熱く！」 競技も応援も一致団結 体育会

10月1日、晴天の下、
体育会開催されました。
進行も応援も、児童会
を中心に行われました。
今年の体育会テーマは
「もえろ もえろ 太陽
のように熱く！」。体育会
が近づくと、子ども達もヒ
ートアップしていきまし
た。応援の練習は身体
を使いました。応援団長
を中心として練習をくり
返すうちに、声が大きく
なり、かけ声もきれい
になりました。
赤組団長の翠田くんの
メッセージは「昨年も
応援をして、そのとき



団長がみんなに声をかけ
てくれたので、それ
を見習って自分がどん
んと声を出して、みんな
にアドバースをしたい。
白組よりも声を出すよう
にして、正々堂々と戦い
たい。」
白組団長の林くんのメ
ッセージは「自分の中の
目標は『勝っても負けて
も、みんながやりきれた
と思ってる』です。
そのためにみんなの前で
本気で応援して、みんな
ががんばろうと思えるよ
うにしたいです。」
本番では、両チームと
も一致団結した応援が
できました。



一輪車パレードや地域
対抗リレーは、四條畷学
園小学校独自の競技です。
どちらのプログラムも、
できるだけたくさんの子
ども達に活躍の場を、と
いう考えがもたされて
生まれました。



保護者の方々の感想
プラスインドスクール…小学生
が演奏しているとは思えないほ
どずばりでした。とてもかわい
く、良い声でした。
2年生…手拍子しながらの歌、
楽しそうでGOODです！
3年生…たて笛と木琴の音が、
とてもかわいかったです。
4年生…歌詞を理解して思いを
込めて歌っているのがよく伝わ
ってきました。
5年生…心が洗われるような優
い音色が大変良かったです。
6年生…迫力のある演奏でした。
最高学年らしい立派なもので
した。

素晴らしい歌声、
合奏を披露！ 音楽会
11月25日、音楽会が開
催されました。児童に向
けた第一部と保護者向け
の第二部、2回の公演で
した。この学年の子ども
達も、素晴らしい歌声や
合奏を聴かせてくれまし
た。



飛べ！どこまでも高く 模型飛行機



12月12日、模型飛行機
会を開催。奇数学年と偶
数学年に分けて行いま
した。低学年児童は手投げ
グライダー、高学年にな
ると竹ひごと紙を貼った
本格的な飛行機を制作。
低学年児童は高学年の作
る大きな飛行機にあこ
がれを抱いていました。
北風の吹く寒い一日で
したが、自分の作った飛
行機を目で追う子ども達
は、嬉しそうに飛行機
の歓声が、グラウンドに
響いていました。模型飛
行機名人の毛利さんに模
範飛行を見せてもらいま
した。高く舞い上がり、
道を越えて高校の校舎ま
で飛んでいく飛行機に、
大歓声が起こりました。
大会は、滞空時間の長
さを競い合います。最初
にクラスのチャンピオン
を決め、その後の決勝戦
では学年のチャンピオン



格好良く頼もしく 走り抜ける 大東市マラソン大会

11月19日、大東市の深
北緑地で大東市マラソン
大会が開催されました。
1年生から6年生まで約
100名が参加しました。
天気は快晴。ただ少々寒
い天候でした。しかし、
マラソンにはこれぐらい
の寒さがあっています。
開会式は、大東市長を
はじめ多くの市会議員の
方々を招いて挙行。その
後、低・中・高学年の児
童がそれぞれスタートし
ました。頬を赤く染めて
ゴールに入ってくる児童
達は、格好良く頼もしく
見えました。晩秋に木立
の間を走り抜ける姿はな
かなかのものでした。来
年はランクを上げる目標
を持った子どもも多くな
るとでしょう。



寒さにマケズ おやつ厳禁にもマケズ 鍛錬遠足

体育の駆け足訓練が終
ると、その集大成とし
て行われるのが「鍛錬遠
足」。寒い冬のまっただ
や着替え、レジャーシー
トなどに加え、食べ物
学年にわかれそれぞれの
目的地に向かいました。
2月4日も突然な寒さ。
今年の寒さは平年ではあ
りません。そんな中、低
学年は深北緑地へ、中学
学年は立野外活動セ
ンを決め、その後の決勝戦
では学年のチャンピオン

を決めます。どちらも一
がんばってゴムを巻ぎ
回りの試技なので、ど
ぞ切ってしまったり、
の飛行機が優勝するの
か、投げた拍子にとりの子
金ぐんかきません。調整
の飛行機とぶつかってし
のために飛ばしてシャフ
トを曲げてしまったり、
が連続します。

平成29年度 第3回漢字検定合格者

3級(中学校卒業程度)	5級: 17名
4年	6級: 18名
	7級: 14名
4級(中学在学期程度)	8級: 24名
6年	9級: 26名
6年	10級: 32名

小学校入試説明会のご案内
5月29日(火)と9月6日(木)の2回の
開催を予定しております。
●学習参観 9:10~9:40 小学校校舎内
●学校説明 9:50~11:00 短大清風学舎6階
参加ご希望の方は、小学校HPからお
申し込み下さい。 ※上靴をご持参下さい

カラメル粒以外厳禁
寒さ少しのひもじさ
を経験。子ども達はそれ
ぞれの思いを持ちながら
学校へ無事に戻ってきま
した。本当にお疲れ様。

●平成29年度 私立・公立高校合格実績●

私立高校			
四條畷学園	専73	同志社系	3
	併12	関西大系	2
東大寺学園	3	立命館系	10
西大和学園	3	帝塚山(奈良)	1
洛南	7	奈良学園	3
愛光学園	2	京都女子	3
明星	3	桃山学院	8
清風	4	近畿大学附属	13
上宮	3	東海大仰星	2
大阪桐蔭	3	常翔学園	13
四天王寺	2	その他	32
大阪国際大和田	18		

国立高校			
大阪教育大附属天王寺	1	寝屋川	1
府立高専	5	春日丘	2
北野(文理学科)	2	清水谷	1
天王寺(文理学科)	6	八尾	2
大手前(文理学科)	9	夕陽丘	1(音楽)
四條畷(文理学科)	11	市立東	英数理数
高津(文理学科)	1	その他	11

●平成30年度 中学校入学試験結果●

	募集人数	志願者数	受験者数	合格者数	入学定数
英数コース	105	117	116	130	119
英数発展コース	35	99	94	47	36
6年一貫コース	35	29	29	24	21
合計	175	245	239	201	176

○英数コースの合格者には英数発展・6年一貫コースより転科合格者を含む
○データには四條畷学園小学校より62名の内部進学者を含む

カプヌードルから日本銀行まで 2年生社会見学
2月9日、2年生は社会見学を実施しました。この行事は生徒が主体となりのクラス、ここに見学地を考え、計画を立てて実施します。カプヌードルミュージアムやタスキンミュージアム、おたへ工場では商品開発の秘話



阿倍野防災センターでは、学校では学習できないよ



大阪の駅と名所を巡りに巡る！ 1年生地下鉄オリエンテering
2月9日、1年生は楽しみにしていた地下鉄オリエンテeringに行ってきました。大阪市営地下鉄の1日乗車券を使って、ポイントに指定されている約70駅を巡り、写真を撮り、得点を競う班活動の行事です。当日どのような順序で、いかに効率よく駅を回るかを各班で話し合い、みんなで知恵をしぼり、計画を立ててきました。

当日は、体調不良の欠席者も何人かいましたが、参加した生徒たちは大阪の地下鉄を東西・南北に、何度も乗り換えて、史跡や名所を写真に収めて帰ってきました。

日本では味わえない体験 6年一貫コース 3年生シンガポール修学旅行
2月7日午前8時半、関西国際空港に集合した3SHの生徒たちは元気いっぱい、寒さをもと

もせず、集合しました。現地に着くまでは、マリナ地区の光と水の修や、世界に一つだけのナイトサファリなど、日地の人材派遣会社の方に多くして、ひと回り成長がた〜さん詰まっています。国立大学の学生さん

と交流プログラム、セントーサ島の選抜研修や、世界に一つだけのナイトサファリなど、日地の人材派遣会社の方に多くして、ひと回り成長がた〜さん詰まっています。国立大学の学生さん

時間となり、6年一貫コース全員で作上げた発表会となりました。今後、この経験は4・5年生の自分プロジェクトや将来の自分のために活かされることでしょう。これからの活躍に期待しています。

薬物乱用防止教室
11月8日、6・7限目を利用し、「薬物乱用防止教室」を開催しました。この教室は毎年、警察や保健所などの関係各所から講師を招き、本校生徒に薬物の怖さを認識させるとともに薬物に近づかない心を育む目的で行なわれているものです。今年は大東市在住で長年薬剤師をしてられる大内啓子氏にお話ししていただきました。大内氏は大阪府薬物乱用防止講師として青少年を薬物依存から未然に防ぐ活動をしてられる方で、精神的に各地を回り活躍してられるようです。この日は薬物乱用者の実体験を元に、違法薬物の怖さや誘惑の口口などを教えていただきました。生徒たちは真



剣に話に聴き入り、薬物模造品を借りし職員室前に展示、実際にはどういふものか見てもうごともできました。

力を合わせ、寒さに勝つ！ 全学年耐寒オリエンテering
12月6日、私市市民の森にて耐寒オリエンテeringを行いました。昼食時に、PTAの方々を心を含めて作ってくださった温かい豚汁を頂いた後、班ごとにスタート。班は全学年を縦割りで見学地をめぐることができ、志賀高原ならではのスキー

を満喫してました。最終日の検定では少し緊張していた生徒たちも、検定が終わると楽しそうにゲレンデに思い思いのシニポールを描いていました。

白銀の志賀高原でエンジョイ！ 1・2年生スキー教室
12月20日、24日にかけて、長野県志賀高原で第48回スキー教室を実施しました。1・2年生の希望者で毎年開かれるこの行事、今年の参加者は113名で、初心者から

上級者までそれぞれの班に分かれ、プロのスキーコーチにレッスンを受けました。例年心配される雪不足も、今年は十分な積雪に恵まれ、ほとんどの班がリフトや Gondola を乗り継いで各スキー場をめぐる事ができ、志賀高原ならではのスキー

を満喫してました。最終日の検定では少し緊張していた生徒たちも、検定が終わると楽しそうにゲレンデに思い思いのシニポールを描いていました。

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子



きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

各種検定試験今年度結果 ※学外受験含まず

●平成29年度(第1回~第3回)漢字検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	5級	
3	32	64	42	13	

●平成29年度(第1回~第3回)英語検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	64	
17	46	94	64		

●平成29年度(第1回~第3回)数学検定 合格者数					
2級	準2級	3級	4級	5級	
1	9	45	23	5	

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

きらりと光る涙と笑顔の巣立ち 第71回卒業式
3年コースの卒業生は、それぞれの進学先に、ま日に盛大に挙行されました。好天に恵まれ、今年度は190名の卒業生が多々のご来賓の方々、保護者の皆様に見守られながら中学校から巣立ちました。たくさん笑顔で、新しい人になっていく様子

介護職と福祉社会のリーダーへ 介護職員初任者研修修了



12月13日、介護職員初任者研修の修了証明書授与式が挙行されました。

受講生33名を代表して、1年8組瀧本颯斗くんが証明書を受け取りました。飯田校長先生が「おめでとう。学園高校においてこれまでに資格取得した学園生は、君たちを含めて、785人になりました。日本は超高齢化社会となり、介護職のニーズが高まるのは必至。皆さんが日本を支えるリーダーになることを期待します」と、祝辞を述べると、1年9組松本彩花さんが「この資格に恥じないよう、ノーマライゼーションの旗振り役として、豊かな福祉社会の実現に向けて努力を続けます」と述べ、閉式しました。

団塊の世代が要介護者になりはじめる2025年には、介護人材数は250万人とされています。本日修了証明書を授与された生徒達が、皆が誇りと生きがいをもって生かされる社会実現のためのオピニオンリーダーとなることを願ってやみません。

最後になりましたが、施設実習先「清滝らくらく苑」「ふれあい介護センター」の職員様の粘り強いご指導に感謝申し上げます。

個性あふれる舞台と感動のフィナーレ！
保育コース「保育発表会」

保育コースでは、2学期末に保育発表会を開催しています。3年生は1年生から身につけてきた保育技術や発表技術を駆使し企画・運営を、1年生は「手遊(てあそび)」2年生は「ミュージカル」を披露し、コース一丸となって取り組みました。今年の日目は、3年9組「大きなかぶ」、3年10組「3匹のこぶた」の着ぐるみ人形劇による年生全員で歌った「ありがとうの輪」の合唱でした。今年の工



夫は、来場して下さった方々も一緒に楽しめるようにと参加型にした点。感動がピークに達したのは、最後の「ありがとうの輪」の合唱。一緒にやっていた教員と、指導してもらった教員への感謝の思い、ここまで見守ってくれた父母への感謝の思いを込めて歌い上げ、素晴らしいフィナーレを迎えました。

3年間共に学んだ仲間と成し遂げる保育発表会には、大きな達成感、満足感を得るとともに、自信にもつながります。大きく成長した年生の姿、教員も感動しました。将来も開催しますので、来年も開催しますので、小さなお子様がいらっしやる方は、ぜひお越しください。

心響け 生徒の力で作り上げた学校見学会

今年の学校見学会のテーマは「生徒主体」。2年後、3年後の未来の自分であろうお姉さん、お兄さん達のプレゼン(はなまり)の心に響くはず！という想いからのスタートでした。生徒会役員が司会をし、クラブ紹介ではカットインが次々と登場し、学園のクラブ活



動がいかに活気あるものかを実感させました。総合キャリアコースの紹介では、キャリア教育の体験談はどれも身近なものであつた。感動がピークに達したのは、最後の「ありがとうの輪」の合唱。一緒にやっていた教員と、指導してもらった教員への感謝の思い、ここまで見守ってくれた父母への感謝の思いを込めて歌い上げ、素晴らしいフィナーレを迎えました。

3年間共に学んだ仲間と成し遂げる保育発表会には、大きな達成感、満足感を得るとともに、自信にもつながります。大きく成長した年生の姿、教員も感動しました。将来も開催しますので、来年も開催しますので、小さなお子様がいらっしやる方は、ぜひお越しください。

服を堂々と着せしめ、歩いていくモデルの姿に多くの人々がカメラを構え、撮影していました。この見学会を作り上げたのは、何時間もういっしょに頑張った保育コースの先生方、時には教員の方が首を上げてくださいました。全員の笑顔を見て、全てが報われました。



3年ぶり!女子の部総合優勝!! 第72回大阪総合体育大会

高校体育クラブ(10クラブ所属)は、第72回大阪高等学校総合体育大会において、3年ぶり6回目の女子の部総合優勝を果たしました。今年度は、バドミントン部の優勝をはじめ、いくつものクラブが入賞しました。

部員たちが日頃から学業とクラブ活動の文武両道を貫き、「体育クラブ員は学園を引っ張る模範生たれ!」を合い言葉に、互いに意識を高めながら頑張った結果だと思えます。そしてそれは、部員たちを支えてくれた先生方や学校関係者、保護者の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

これからも感謝の心を忘れず、「四條畷学園に体育クラブあり」の精神で、部員たちと力を合わせて頑張っていきます。



イタリアンメニューの採用に挑戦!
総合学習「商品開発プレゼンテーション」

総合コース3年生が、総合学習の最後のしめくくりとして、商品開発プレゼンテーションを行いました。協力してくれたのは、学園北門から徒歩1分のところにあるイタリア料理店「Piccolo」(ピッコロ・カフネ)です。学園中学校の卒業生である中田竜史さんが経営されています。生徒達は班で協力して発表資料を作り上げ、クラス予選会に臨みました。

マーチング全国大会で金賞! 吹奏楽部

12月に行われた「第45回マーチングバンド全国大会」に8年連続の出場。その結果、見事金賞を受賞しました。

今年度は「THE POWER OF PRIDE」と題し「祈りの力」をテーマにした作品に取り組みました。物に、埼玉まで駆けつけ、生方をはじめ、ご支援くださった保護者や先演奏、8月のサマーコンサートや吹奏楽コンクールに感謝致します。

今年度創部35年を迎え、3月には記念の定期演奏会「WINGS CONCERT」でした。半年かけて取り組んだ作品は、一生の宝を開演。今後は、5月に奈良県・薬師寺での奉納演奏、8月のサマーコンサートや吹奏楽コンクールに向けて頑張っています。

これからもご声援とご声援を賜います。

並々ならぬ熱意を感じました。

優勝したのは、パイ包みとパスタを融合させた3年1組の「野菜たくさぱスタ」。1月には中田シェフがアレンジしたものを試食させていただきました。プロの腕に引き上げられた生徒達は感動していました。「自家製パスタに生徒達は感動していました。自家製パスタに生徒達は感動していました。自家製パスタに生徒達は感動していました。」

卒業生が即興で合唱を披露! 感動・涙の送別会

6年一貫コース3期生(38名)の大学合格実績を速報します。

大阪府立大学(現代システム科)、京都工芸繊維大学(工芸科)、大阪教育大学(教育) 各1名、同志社大学、関西学院大学、立命館大学、関西大学に(合計のべ24名)合格しました。その他にも上智大学、近畿大学、甲南大学、京都産業大学、龍谷大学など多数の大学に合格しました。社会で活躍できる人材の育成のため、進化し続けるコース。3期生それぞれが夢を実現する力「実現力」で未来へ飛び立ちます。

卒業生が即興で合唱を披露!

6年一貫コース

6年一貫コース3期生(38名)の大学合格実績を速報します。大阪府立大学(現代システム科)、京都工芸繊維大学(工芸科)、大阪教育大学(教育) 各1名、同志社大学、関西学院大学、立命館大学、関西大学に(合計のべ24名)合格しました。その他にも上智大学、近畿大学、甲南大学、京都産業大学、龍谷大学など多数の大学に合格しました。社会で活躍できる人材の育成のため、進化し続けるコース。3期生それぞれが夢を実現する力「実現力」で未来へ飛び立ちます。

第8回トウワイス・アワード全国大会 で優秀賞を受賞!

4年生が「自分プロジェクト」での学びを全国で発揮しました。一昨年、昨年と2年連続でグランプリを受賞しているブレゼンテーション全国大会に今年も参加し、優秀賞を受賞しました。全国の中学生・高校生、総数約9000名から選出された代表生徒が一堂に会してトウワイス・アワードで表彰されました。空、森永乳業、明治、ロソンなどの企業の指令を受け、課題解決に取り組むワークです。

卒業生が即興で合唱を披露!

6年一貫コース

6年一貫コース3期生(38名)の大学合格実績を速報します。大阪府立大学(現代システム科)、京都工芸繊維大学(工芸科)、大阪教育大学(教育) 各1名、同志社大学、関西学院大学、立命館大学、関西大学に(合計のべ24名)合格しました。その他にも上智大学、近畿大学、甲南大学、京都産業大学、龍谷大学など多数の大学に合格しました。社会で活躍できる人材の育成のため、進化し続けるコース。3期生それぞれが夢を実現する力「実現力」で未来へ飛び立ちます。

保育学科

約40年前の卒業生も参加！
第4回「ホームカミングデー」



2014(平成26)年度から始めた「ホームカミングデー」は、今年度で4回目を迎えました。今回は大きな変更点として、6月に開催していた時期を、より多くの「卒業生」に集まってもらうために、初めて「なわて保育学講座」とリンクさせて、2月17日に執り行いました。スタート当初は、1年目の卒業生を対象として声をかけ、保育現場でのつまみ食い

の緩和を目的に気が転がっていました。参加していただいた方々が「心温まる二時」を共有できたのではないかと自負しています。

「なわて保育学講座」に参加したとき、講座終了後に「同窓会」スタート。今回は、約40年前に卒業された大先輩をはじめ、30年前、20年前の卒業生が数多く参加していただくという主催者としては大変嬉しい状況に、さらに、画家・絵本作家で、本学と縁の深い長谷川義史先生も趣言に賛同していただき、ご講演をいただきました。より身近に長谷川先生との接点をつくる機会にもなりました。

1972(昭和47年)に保育学科の前身である「児童教育学科」が設置されて以来、46年にわたる「歴史と伝統」を改めて認識できた1日もありません。

2月17日午後12時30分より、恒例となった「第8回 なわて保育学講座」が短期大学清風学舎6F記念ホールにおいて120名を超える参加者を迎え、今回も大変充実した研修会となりました。例年のように講座は2部構成。第1部は、本学保育学科の長谷川揮准教授が「生活発表会」として子どもたち保育者もいきいきと輝く生活発表会、くごご遊び・お話し遊び・劇遊びを楽しく充実させた「第8回」のヒント〜をテーマに講演しました。長年保育現場において培われた「生活発表会」を成功させるためのポイントを30項目に集約し、参加者に懇切丁寧に解説しました。「生活発表会」として子どもたち保育者もいきいきと輝く生活発表会、くごご遊び・お話し遊び・劇遊びを楽しく充実させた「第8回」のヒント〜をテーマに講演しました。



子どもたちを思う
心温まるひととき
第8回「なわて保育学講座」

参加していただいた方々が「心温まる二時」を共有できたのではないかと自負しています。参加していただいた方々が「心温まる二時」を共有できたのではないかと自負しています。

オープンキャンパス ●開催時間 14時~16時

第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
5/12	5/26	6/10	6/16	7/7	7/15
第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
7/22	7/28	8/19	9/1	9/15	11/17

ライフデザイン総合学科総合福祉コース



総合福祉コース最後の卒業生が、3月10日、全員が福祉人材として社会に巣立って行きました。これで、平成19年度に介護福祉士養成を開始した1期生から数えて182名が本学を卒業したことになります。おかげさまで、最後の学年も、就職率100%を達成させ、率100%を送ってあげることができ、感慨深いものでした。

2部懇親会はさらに出席者が増えて計50名の卒業生が出席し、福祉人としての役割を担っている美

名が本学を卒業したことを受けて、介護実習成果を発表した在校生に対し、在校生や現職職員とともに思い出話に励まされ、就職先を希望する若者は減り、どこか介護施設も人手不足が深刻です。卒業生たちの職場も同様で、その現職が厳しい勤務をこなしてカバーしているように、誰もが「人の役立っている」と感じ、本当に頼もしく感じました。どうか元気で末永く、専門職として働き続けてほしいものです。



ライフデザイン総合学科



高年齢者、障がい者サポートのスペシャリストへ ユニバーサルマナー検定

力強く宣誓！ 就職出陣式

1月31日、北条学舎にて新2年生対象の就職出陣式が行われました。東利さんの一言で、決意が述べられました。3月1日には学生全員が就職課の引率の下、就職フェア(就職合同説明会)に参加し、それぞれの強い思いを結果させるべく、本格的な就職活動に入っていきます。

一般企業や病院などに就職するためのビジネスマナーや社会人としての立ち居振舞いを学んでいます。今回はさらに自分とは違う誰かのことを思いやり、理解すること、高齢者や障がいのある人、

全国の短大・四大として初の導入となった、ユニバーサルマナー検定の第2回目を10月2日に実施しました。今回はユニバーサルマナー検定3級を初めて学び、一歩を踏み出す入門者向けのカリキュラム。講師の岸田ひる美先生の75分の講義とその後の45分の演習は、グループに分かれて事例に関する意見を共有し理解を深めました。初めは意見を言えなかった学生も、次第に積極的に発言

人口の4人に1人が高齢者、16人に1人が障がい者という現代において、高齢者や障がい者への適切なサポートやコミュニケーション方法を、マナー検定として身につけることはとても重要です。ユニバーサルマナー検定3級は、ユニバーサルマナーを初めて学び、一歩を踏み出す入門者向けのカリキュラム。講師の岸田ひる美先生の75分の講義とその後の45分の演習は、グループに分かれて事例に関する意見を共有し理解を深めました。初めは意見を言えなかった学生も、次第に積極的に発言

1月31日、北条学舎にて新2年生対象の就職出陣式が行われました。東利さんの一言で、決意が述べられました。3月1日には学生全員が就職課の引率の下、就職フェア(就職合同説明会)に参加し、それぞれの強い思いを結果させるべく、本格的な就職活動に入っていきます。

ここ、かみしめるように耳を傾けていました。そして新2年生代表、辻本恵利さんの一言で、決意が述べられました。3月1日には学生全員が就職課の引率の下、就職フェア(就職合同説明会)に参加し、それぞれの強い思いを結果させるべく、本格的な就職活動に入っていきます。

一般企業や病院などに就職するためのビジネスマナーや社会人としての立ち居振舞いを学んでいます。今回はさらに自分とは違う誰かのことを思いやり、理解すること、高齢者や障がいのある人、

絆、つながりを強くする 2017年樟葉祭



10月28・29日に四條畷学園大学・四條畷学園短期大学合同の学園祭である樟葉祭を開催。普段の学内生活では各学部・短大の学生、教員が合同で行う行事が少ないため、開催までの準備は大変ですが、リハビリテ

ーション学部・看護学部・短大の自治会の学生が中心となり、無事開催できました。四條畷学園の関係者や地域の方々をお招きし、お笑いライブや模擬店、学科を活かした出し物などを実施し、例年通り、盛り上が

りました。今年は台風が重なり、開催時間やイベントの変更がありましたが、運営・設営に関わった学生が臨機応変に対応し、無事に終わることができました。準備・開催に関わった学生は学内の各専門分野の勉強と両立して準備するため、苦労もありますが、よい経験になりました。

樟葉祭を通じて、四條畷学園大学・短大の学生、教員間につながりもできており、毎年、このイベントを通じて学生は成長しています。ま

た来年も伝統を重ねて、四條畷学園大学・短大の学生が協力して開催していきたいと思います。



看護学部

小児看護学実習の実習施設でもある大阪府立大学には、様々な障害を抱えた18歳までの子どもたちが生活しています。

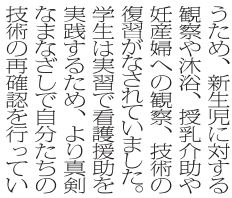
気持ちの共有で 子どもたちと一緒に成長 学生のボランティア活動

この医療障害児施設で、本学の学生たちがボランティア活動を行っています。特別支援学校の長期休暇中に、入所している子どもたちと遊んだり、学習のサポートをしています。昨年末はクリスマス会にも一緒に成長しています。

参加。サンタさんからのプレゼントをわくわくときき待っている子どもたちと一緒に、学生も幸せな時間を過ごしました。「言語のコミュニケーションだけじゃなく、気持ちを共有することが大切だと教えてもらっています。」



3年後期の臨地実習では、成人(急性)、成人(慢性)、老年、母性、小児、精神の6領域での看護学実習があります。学生は実習を通して、看護の対象者に向き合い、教員や実習指導者の支援を受け、看護援助を実践します。



母性看護学実習の学内演習では、妊婦及び新生児に関わり看護援助を行うため、新生児に対する観察や沐浴、授乳介助や妊産婦への観察、技術の復習がなされています。学生は実習で看護援助を実践するため、より真剣なまなざしで自分たちの技術の再確認を行っています。

入試状況 平成29年度 実習中はすべての体験が学びとなり、学生自身が大きく成長させてくれました。そんな学生を家庭でサポートしてくださるご家族にも感謝しております。

●リハビリテーション学部			
専攻	志願者数	入学者数	
理学療法学専攻	132	41	
作業療法学専攻	50	24	
●看護学部			
学科	志願者数	入学者数	
看護学科	485	90	

速報! 国家試験結果

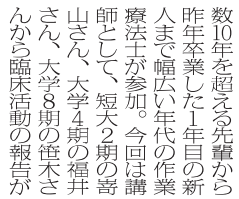
第52回理学療法士・作業療法士国家試験が2月26日に行われました。本学の結果は以下の通りです。

専攻	合格率	受験者数	合格者数	合格率(全国)
理学療法学専攻	88.4%	43名	38名	81.4%
作業療法学専攻	80.0%	30名	24名	76.2%



松木教授が「小脳と理学療法」について学会講演 12月3日に一般社団法人京都府理学療法士協会による第28回京都府理学療法士学会にて松木明好教授が「小脳と理学療法」について教育講演を行いました。小脳は運動調節に大きく関与し、理学療法を行う上で運動調節のメカニズムや病態との関連を説明することが重要とされています。教育講

田丸佳希講師が優秀賞を受賞 近畿作業療法学会 10月1日に開催された第37回近畿作業療法学会において、田丸佳希講師が優秀賞を受賞しました。演題内容は「利き耳と非利き耳における脳のラテラライザー(側化)についての検討」です。なお、田丸講師は第35回近畿作業療法学会においても最優秀賞を受賞しています。



「第2回分科会」を開催 10月21日に本年度2回目の分科会が開催されました。短大時代の経験年数10年を超える先輩から昨年卒業した1年目の新人まで幅広い年代の作業療法士が参加。今回は講義に実践的なアドバイス師として、短大2期の寄山さん、大学4期の福井さん、大学8期の笹木さんから臨床活動の報告がなされました。その後のグループワークでは、経験の浅い卒業生が困っていることを中心とした議論が行われました。自身の経験を踏まえ、先輩は後輩に実践的なアドバイスをしていました。その話に真剣に聴き入っている姿が印象的でした。今回は実行委員長の松本さんからの提案で、初の試みとして託児所を設置。実行委員とともに銀山先生、川上先生が協力をしてくださいました。子連れでも参加できるというので来たという卒業生もおり、一役買っていました。

キャンパスイベント

行けば行くほど未来の仕事が見えてくる!

学部紹介、体験授業、在学生との交流、キャンパスツアーなどのイベントを活用して、受験や大学生活の疑問点を解消してください。詳細は大学ホームページでご確認ください。

- 入試対策&相談会 9/30日 12/2日
- オープンキャンパス 5/27日 6/17日 7/29日 8/11日 26日
- 授業公開型オープンキャンパス 9/17日 ※在学生と一緒に大学の講義を受講します

在学生と楽しく交流!

各校園長からの新入学のお祝いの言葉



●大学・短期大学 学長
廣島 和夫

初志貫徹の精神をもって 医療人のプロとならんことを

この度、四條畷学園大学および短期大学にご入学されました皆様方、ご入学おめでとうございます。

学校法人四條畷学園は、一昨年創立90周年を迎えました(1926年創立)が、四條畷学園大学(2005年開学)は、まだ創立14年を迎えたばかりの若い大学です。ただリハビリテーション学部は、短期大学時代にリハビリテーション学科として創設(2001年)されていますので、それを合わせますと創立から18年目を迎えることになります。また、看護学部は、平成27年に開設されましたので、本年4月に初めて4回生を迎えることになります。

今後は両学部が二人三脚の如く互いに

協力しながら、できれば合同授業や合同カンファレンス・合同学術講演会などを開催できれば、と考えております。そして、優秀な理学療法士・作業療法士・看護師を育て上げ、北河内地区の医療の質の向上の一端を担い貢献せんことを望んでおります。

四條畷学園短期大学は、1964年に創設され55年目を迎えております。1972年に創設された保育学科は、今年で47年目を迎え、近畿では中核的な役割を果たしていると自負しております。

一方、ライフデザイン総合学科は2004年に創設され、当初はその時代の学生の志向に合致したものでしたが、経過とともに秘書オフィスワーク・IT関係・医療事務などにシフトしてきました。これもまた、時代の要請に応じたものと思っております。

大学・短期大学とも専門教育のコアは、

「ひと」と「ひと」との、また「こころ」と「こころ」との深いつながりをベースとして、その上にそれぞれの専門領域の幅広い知識と技術を積み上げて行くこと」です。科学性(論理性と再現性)と同時に「研ぎ澄まされた感性」を有することが非常に重要です。これらは今からでも培うことが可能であり、ぜひとも身につけるべく、努力をしていただきたく思います。

とはいえ、専門職に就くにはそれなりの厳しい勉学と、不屈の精神とが要求されます。それでも必死に努力をして目的に向かって邁進すれば、誰もが成就可能です。

その先には自ら選んだ専門職に就くことができ、多くの人々から感謝され、達成感のある人生が待ち受けています。

どうか初志貫徹の精神をもって、大学生活を全うされんことを願っております。



●高等学校 校長
飯田 英佳

個性を大切に、 大人として成長を

新入生のみなさん、四條畷学園高校への入学おめでとうございます。高校の3年間はとても大切な時期です。高校時代にあなたの個性や人格の基礎がつけられるからです。そして、高校の3年間で、あなたの進路の方向が決まるからです。中学校では、ほとんどの人が高校へ進学します。高校では、就職・専門学校・短大・大学と、目指す方向が多様になって

きます。将来の目標を決め、そのための努力をしなければなりません。

どのような進路をめざす場合でも、身につけておかなければならないものがあります。基礎的な知識や考える力、基本的な生活習慣や規律ある生活態度、個性に応じた得意な分野の能力、そしてより良い人間関係を築くコミュニケーション能力、これらを学びしっかり身につけましょう。これらの大切なものは、友達との交流を通じて、また授業や学校行事、クラブ活動などを通して習得するものです。

四條畷学園高校は、あなたの高校生活が楽しく充実したものになるよう、先生たちが温かく見守り指導していきます。あなたが個性を伸ばし、能力を高め、人として成長していけるようサポートし励ましていきます。それは、本校の教育方針が「一人ひとりが持つ個性を大切に、自分で考え判断し、自主的に行動し、自ら学び、そして品性ある大人として成長するよう皆さんを導くこと」だからです。

学園の先生方と新しい友人たちと一緒に、あなたの高校生活が素晴らしいものとなるよう頑張らしましょう。



●中学校 校長
仲尾 信一

「心豊かな人」へと成長を

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。

いよいよ四條畷学園中学校での生活が始まります。今、皆さんは中学校生活に期待と不安が入り混じった緊張している状態だと思えますが心配いりません、本校の教職員や先輩方が必ず新入生の皆さんをより良い方向へ導いてくださるでしょう。

さて、これから皆さんは中学校生活の中で、感謝の気持ちを忘れず、優しさを持ち、正しい判断のできる心を養い「心豊かな人」として成長してください。「いじめ」は絶対に許されません。人は一人ひとり違っています。身体・学力・性格など、それぞれに違って当たり前です。その違いをお互いに認め合い、助け合い、協力し合っていくのが「心の豊かさ」です。皆さんの力で広い心、優しい心、温かい心のふれ合う学校になるよう努力してください。

そして、一番大事なことは、生徒同士、生徒と先生が信頼しあって、毎日の学習や学級活動、クラブ活動などに打ち込み学校に通うことと、新入生の皆さんにとって「楽しい」学校であるということです。皆さんは、それぞれの小学校から入学されましたが、出身小学校の垣根をなくして「みんな四條畷学園中学校の生徒である」という考えを強く持って、一人ひとりが良い学校の一員になるよう願っています。



●小学校 校長
北田 和之

毎日が新たな経験の 連続に

新入生の保護者の皆様、入学おめでとうございます。在校生の保護者の皆様、それぞれの学年への進級おめでとうございます。

小学校という基礎の時代には、いろいろと学びたいとか、伸びたい、わかりたい、認められたいといった本質的な人間欲求を掘り起こし、意識を高めることが大切です。本校の教育方針では、「個性

の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」の4点があります。このひとつ「実行から学べ」がありますが、「知って行う」、あるいは「行って知る」といった経験を通じた知識こそが、子どもの生きていく力となります。

四條畷学園小学校では、体験を重視した学習を全学年に取り入れ、子どもたちの生涯にわたる学びの基礎を固めてゆきます。ふだんの授業の中には、子どもたちの五感に触れる体験型の学習を積極的に取り入れています。また、自然学校・カントリーステイ・修学旅行・ヤングアメ

リカンズ・臨海学校・オーストラリア生活体験旅行・琵琶湖フローティングスクール・模型飛行機会・魚釣り・秋まつり・音楽会・スキーといった数々の行事も、同様の考えを下じきにしたユニークなものになっています。毎日の学校生活そのものが、新たな経験の連続とも言えます。

私たちは、子どもたちとできる限りふれあい、学校が好きな子ども、勉強が好きな子ども、明るく元気で思いやりのある子どもを育てたいと考えています。保護者の皆様にはご支援とご協力、よろしくお願いたします。



●幼稚園 園長
前田 泉

生きる力を育みます

ご入園おめでとうございます。四條畷学園大学附属幼稚園での新しい生活が始まりました。私たち教職員一同、ご入園のお慶びを申しあげるとともに、一緒に過ごすことができるご縁に「感謝のこころ」を抱いております。保護者の皆様、安心してお子様の笑顔と成長を見守っていただけるように、温もりのある保育に取り組んで参ります。

今年度より、全国の幼稚園で「新幼稚園教育要領」がスタートしました。目指すところは、豊かな心と健やかな体を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培うところにあります。幼稚園では、創立者の強い思いが込められた建学の精神である「報恩感謝」をもとに、「生きる力」を育みます。

飯盛山の麓の恵まれた自然と充実した環境のもとで、経験豊かな教職員がお子様の心身の健康を見守り、ご家庭では体験できない集団生活を通して、お友達と

関わりながら、一步一步成長されることを願っております。そして、「おはようございます」の挨拶から始まり、身の回りのものに感動する感性と表現する力が育つように見守ります。

今日の笑顔と感動が、未来を担う子ども達の成長につながることを願っております。お子様、保護者の皆様、私達教職員がお互いに「感謝のこころ」を持ち続けられる事を目指して、日々一層精進して参りますので、これからも幼稚園にご理解とご支援をお願いいたします。